



当別ミニバス少年団から
大崎市への義援金を託される (4/18)

「少子化」と「まちの未来」 ～町民参加がキーワード～

2012 年頭のあいさつ

新しい年を迎えるにあたり、町民の皆様にご挨拶申し上げます。

昨年は、東日本大震災という想像を超える大災害に、被災地では多くの悲劇が生まれましたが、同時に全国に支援の和が広がり、国を挙げての再生・復興計画が進みつつあり、新たなまちづくりも始まっています。

今、全国的に少子化と人口減少の問題が懸念されています。昨年の町内の出生数は約70名で、人口が増加していた平成6年頃と比べ、約1/3と少子化は確実に進行しています。

まちの未来を考えるには、こども、および子供を持つ家庭を増やし、町を元気にさせることに繋がる取り組みを、行政だけではなく町民の皆さんの協力の下、知恵を結集して取り組むことが大切です。

新しい年が、皆さんとの協力により、希望をつなぐ一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

当別町長 泉 幸俊 考